



## みどりの東北

キブナハムシの被害程度と開花頻度の関係」、山形大学農学部菊池俊一准教授が「連携から見えてくる東北の森林の明日」と題して講演しました。



関係者で記念撮影

室において協定に基づく活動として公開講座を開催し、林業士の加藤周二氏が「国有林と山形大学農学部に期待すること」、山形森林管理署崎野健輔署長が「魅力いっぱい・山形の国有林!」、大学院農学研究科1年清野陽介氏が「ブナに対するウエツ

### ミニコラム

## 「へえ〜、そうなんだ!」 完熟はいつ頃?

岩手北部森林管理署 技術専門官

松尾 亨

Tooru Matsuo

**実**りの秋とは言うものの、木の実の完熟期って? ... 冬の凍れを待って酸味や渋みが、甘さに変わる木の実は、オナガやシジュウカラは食べ頃を見極めて冬越しの食料とします。今回はこれらの樹木の実をクイズ形式で学んでみましょう。

秋のうちから甘いタイプもありますが、時間とともに渋く・甘く・芳しくと変化する木の実動物や野鳥に、食べてもらうための工夫です。甘さや渋さは、時として人にも求められる要素ですが、人間としての熟し頃って? ... では、里山や高原にある6種類の樹木とつづのクイズに挑戦してみましょう。



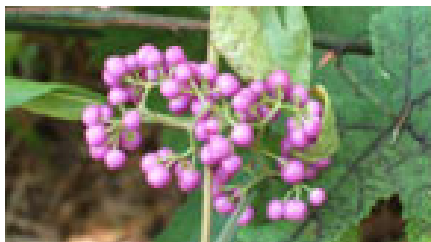
①牧草地や高原で見られ花は白く、葉が3裂することでエゾノコリンゴと区別します。



②変形した果柄が名の由来。果柄が厚く膨らみ、食べると甘く岩手の方言で「アマガゼ・アマザキ」



③ぱっくり開いた形がヒント、甘くてヤマネやモモンガも食べにきます。葉は3枚。



④初夏に薄紫の花を上向きにつけ葉は対生、方言で「ハシギ」。源氏物語がヒント。



⑤ニシキギの仲間ですがコルク質の翼はつかない。2個の実と蒴果が美しい。



⑥方言で「ジョウミ・ジュミ」と呼ばれ、熟すと甘酸っぱい。焼酎に漬けると赤く美しい果実酒となり利尿効果有り。

◆ 答え ①ズミ(バラ科) ②ケンボナシ(クロウメドキ) ③ミツバアケビ(アケビ科) ④ムラサキシキブ(クマツヅラ科) ⑤コマユミ(ニシキギ科) ⑥ガズミ(スイカズラ科)